

平成28年7月14日に群馬県伊勢崎市で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

7月14日14時頃、群馬県伊勢崎市下道寺町（げどうじちょう）から太田町（おたまち）にかけて突風が発生し、住家の屋根瓦のめくれなどの被害がありました。

このため、7月15日、前橋地方气象台は、突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストまたはガストフロントの可能性はあるものの特定に至らなかった。

(根拠)

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・被害または痕跡は面的に分布していた。
- ・漏斗雲または移動する渦の目撃など、竜巻の発生を示唆する情報は得られなかった。

(特定に至らなかった理由)

- ・被害または痕跡から、被害をもたらした現象を推定できる情報が得られなかった。

(2) 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約35m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当する。

(根拠)

- ・住家の屋根瓦のめくれ

* この資料は速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

本件の問い合わせ先
前橋地方気象台
電話027-896-1220